

八潮市議会議員 あさだ和宏(44歳)無所属(刷新の会)



継続こそ・力なり!!
子育て世代の声を市政へ!!

未来の八潮・子どものために… 和宏のほっとかない!! NEWS vol.46〈3月議会報告〉

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
FAX 048(996)4361

●発行日 平成24年4月●

討議資料

子供に
ツケを
まわさない!



プロフィール

1968年 3月28日
八潮市に生まれる(現在44歳)
市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業
私立成立学園(商業科)を卒業
専修大学 法学部法律学科卒業
(2012年)
01年 (社)八潮青年会議所理事長
(青年会議所の事業を通して、
政治のあり方・教育問題に関心を持つ)
01年 9月市議選に立候補
(最年少候補(当時)33歳)
1229票12位当選
05年 9月
2度目の市議選に立候補(37歳)
1415票9位当選
09年 9月
3度目の市議選に立候補(41歳)
1733票3位当選
現在、3期目(刷新の会)

所属団体

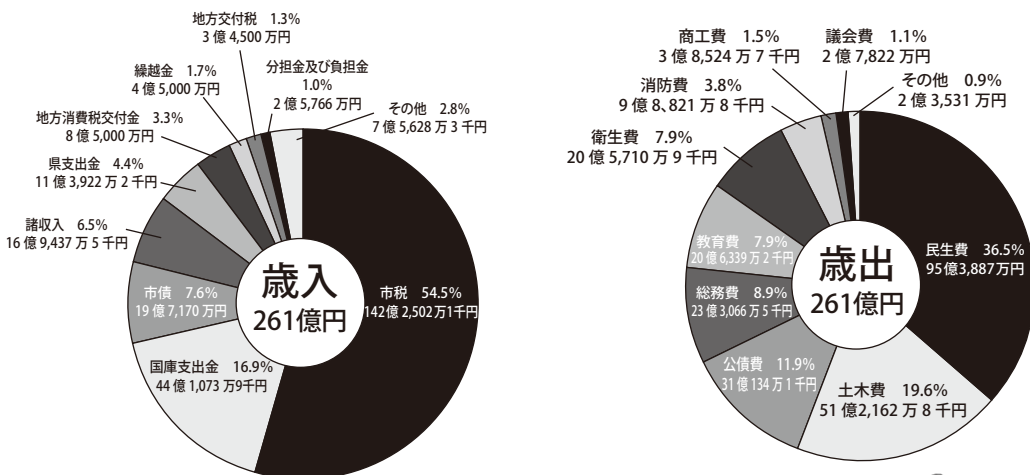
地方政治改革ネット 会員
青年地方議員の会 会員

ホームページ

あさだ和宏

検索

平成24年度 八潮市一般会計予算 261億円 (八潮市政・過去最大規模)が可決!



平成24年度、八潮市一般会計予算(261億円)を「ハッピーこまちゃん家」(1年間の生活費500万円)に例えると…

ハッピーこまちゃん家の家計簿

収入		支出	
①給与(市税)	272.5万円	①食費(人件費)	108万円
②実家からの援助(国・県からの補助)	136万円	②医療費(扶助費)	110万円
③雑収入(諸収入)	32.5万円	③衣料代・水光熱費(物件費)	77万円
④銀行からの借入(市債)	38万円	④借金の返済(公債費)	59.5万円
⑤家賃収入(分担金・負担金等)	8.5万円	⑤家のリフォーム代(普通建設事業費)	56万円
⑥前月の余剰金(繰越金)	8.5万円	⑥子どもへの仕送り(繰越金)	46万円
⑦預金取り崩し(繰入金)	4万円	⑦自治会等の会費(補助金等)	40.5万円
		⑧その他(維持修繕費・予備費)	3万円
合計	500万円	合計	500万円

※一般家庭とは会計の仕組みが異なりますので、単純比較は出来ません。参考としてご覧下さい。

あさだ和宏を育てる会

日帰り・親睦バス旅行のご案内

- 日 時 6月 10日(日曜日)
- 行 き 先 潮来あやめ祭り見学と銚子市内観光(銚子電鉄・乗車含む)
- 参 加 費 大人 5,900円 子供 3,900円(昼食付)
- 募集定員 180名(観光バス4台)※定員になり次第、締切りとなります。
- 申込み先 あさだ商店、または役員までご連絡下さい。 またはFAX 996-4361
- 問い合わせ 朝田《議員》(携帯)090-3402-6388※非通知では繋がりません。



一般質問

市民後見人の育成について

Q 高齢者の権利擁護の施策の一つとして、市民後見人があります。本市でも、今後、本格的な高齢社会を迎える時代になる中で、後見の担い手として、市民後見人の育成が必要と考えます。この件については(案)八潮市高齢者保健福祉計画に新規事業として記されていますが、今後の具体的な進め方について伺います。

A 具体的な進め方については、まずは市民後見人制度を広く市民に周知していくことが重要であり、制度を理解していただく上で、市民後見人の養成研修を実施、研修カリキュラムを終了した方を市民後見人候補者として家庭裁判所に推薦する予定。今後、八潮市社会福祉協議会と連携して取り組んでいく予定。

再質問

Q やしお市民大学との連携(具体的には市民大学の講義の一つとして、市民後見人の講座を実施してみたい。

A 今後、市民大学を担当している課と協議をしていきたい。

和宏の考え・意見

今後、本市も急速に高齢社会を迎える時代となり、今以上に高齢者の権利擁護は重要課題の一つだと考えます。ちなみに市民後見人とは、雑駁な説明になりますが、親族間のトラブル等といった重大な紛争ではなく、身近な生活で、判断能力が十分な高齢者等を支援する制度です。(老人福祉法の改正により、市民後見人の育成は自治体の「努力義務」となっています)

現在、市民後見人は全国でも約200人程度であり、これからの制度です。今後、本市でも具体的に後見人の養成を取り組んでいくことになっていきます。その際には、市民の皆さんのご協力・ご理解をお願いします。

特別支援学級の充実について

Q 平成19年4月の学校教育法の一部改正に伴って、特別支援教育が制度化され、5年が経過しようとしています。

今後、特別支援教育のあるべき姿、方向性を、再度、確認する必要があると考えます。そこで、本市の特別支援学級担任の中で、特別支援学校教諭等免許状を取得している方は何人いるのか伺います。

A 現在、市内で特別支援学級を担任している教員(22名)のうち、免許状等取得者は6名。

再質問

Q 免許所持者の特別支援学級等の担任経験年数は。

A 1年～2年(1人) 3年～5年(1人) 6年以上(4人)

Q 現在の研修とは別に、中期的・長期的な研修、系統性のある研修体制を充実させる考えは

A 今後、研修体制をさらに充実していきたい。

Q 学校長を含む、管理職側の特別支援教育に対しての共通認識・理解も重要であり、その点についての考えは。

A 現在も、管理職を対象とした研修も実施しているが、今後も充実するように努力したい。

Q 「ハード面の整備について」特別支援学級未設置の学校について今後の考え方は

A 全校に設置をするには様々な課題があるが、全ての学校に設置が出来るように、条件や課題を整理し、今後も協議を続ける。

和宏の考え・意見

特別支援教育が制度化され5年が経過

し、今後も特別支援教育に対する期待は大きくなっています。しかし、現状は、教員の育成等、専門性に関して課題は少なくありません。

今後、専門性の向上のために、個々の教員の専門性の確保と、専門家の活用や、福祉、医療等の関係機関との連携の強化も重要であり、その点について前向きに検討するように提案しました。

駅前出張所における図書窓口サービスの充実について

Q 現在、八潮駅前市役所出張所において、事前に予約してあった図書等の貸出しサービスを実施しています。利用者の方から出張所の開所時間と併せて本の受け取りが出来ないか、との声があります。図書館が無い地域への配慮という観点で、図書等の受け取り開始時間を早めることについて市の考えを伺います。

A 八潮市立図書館設置及び管理条例により、午前9時からとなっていますが、8時30分には職員が配置に着き、9時からのサービスに備えて図書館システムの準備をしているので、サービス開始前に来所された方にも受付対応している。

再質問

和宏の考え・意見

まずは、図書窓口サービスの件ですが、昨年、担当に事情を話した時は、「システムの関係上難しい」との回答でした。しかし、現状は、予約してある図書は前日には出張所へ届けられており、少し工夫をすれば可能だと感じ、質問をしました。しかし、いつの間にか実施されていた…。

まあ、それぞれの事情がありますので、深く追求はしませんが…。ともかく、サービスを拡充していただければ納得です！

しかし、残念ながら、図書館のHP等の記載は「午前9時から」と明記されたまま。今後検討をしていきたいとの答弁です。

した。

※利用者の皆さん、駅前出張所での図書等の受け取りは、午前8時30分から可能です！

そして、最後に、今後、激化する沿線間競争に勝ち残るために、二つの重要施策として、駅周辺に図書館や児童館機能を併設した、公共施設の建設・設置を提案しました。

福祉避難所の設置について

Q 災害発生時に高齢者や障がい者、妊産婦等の要援護者に対応する施設「福祉避難所」が、本市の場合、まだ未設置となっています。今後、設置に向けて動く必要があると考えますが、市の考えを伺います。

A 八潮市地域防災計画の見直しの際には、指定避難所としている老人福祉センターやコミュニティセンターを福祉避難所とするなどの検討や、市内の社会福祉施設との連携が必要であり、今後、相互の協力体制を構築し、「福祉避難所の運営・設置に関する協定」の締結を早期に実現するため努力していきたい。

再質問

Q 厚生労働省が2008年に策定した「福祉避難所設置・運営に関するガイドライン」の中で、「災害時要援護者リスト等の作成しておくこと」とあるが、この点について過去に私も一般質問で取り上げたが、その後、どのようなになっているのか。

A 担当課では、要援護者の把握はしており、今後、関係する課との協議を進めている段階。

Q 様々な災害のケースがあるが、市では大規模な災害が発生した場合に、対象となる「要援護者」はどの位の数となるのか、想定している人数は。

A 現在、市内の高齢者人口は約16,000人、そのうち約1割の方が要援護者と想定しており、1,500人～1,600人程度と推測しています。

福祉避難所の設置は、県内でも約半数の市町村で「未設置」となっているのが現状です。

福祉避難所の設置は、1995年に発生した「阪神淡路大震災」で、高齢者や障がい者等が、避難所に逃れた後、十分なケアが受けられず体調を崩して死亡した「震災関連死」が相次いだことを教訓として、整備が進められています。

先の東日本大震災発生時にも同様な事例があったと聞いています。「災害弱者」とよばれる人々への対応を、行政側が率先して平時の時から十分に対応し、早急に整備する必要があると考えます。



灯台下暗し。身近であるが故にかえって気が付きにくいという意味である。近年、モノが作られていく現場を見学する、いわゆる工場見学がブームである。議会を傍聴することは、工場見学に似ていると私は考える。

まさに新たな施設やサービスを作り出すためには、議員と市職員が意見を交わらせていくことが大切である。

両者が歯車のように噛み合うことで、まちは作られていく。そうしたやり取りが行われている現場が議会であり、誰もが見学できるように開かれている。

モノ作りの現場には新製品を作る機械と改良を施す機械があるように、議会では現実の課題だけではなく、将来の指針も議論されている。普段何気なく使っている行政サービスや公共施設は、私たちの身近な「工場」で、何回もの議論の果てに作り出された賜物なのだ。

市民後見人の育成。特別支援学級の充実。福祉避難所の設置。今回の般質問で、八潮市に新たな「材料」が投入された。この材料が議論を経て、どのような形で生まれてくるのか。楽しみである。

専修大学
法学部(小林ゼミ4年)
野澤研太

○議会報告会・議員を囲む集いが開催されました。

さる2月25日(土曜日)八潮メセナ集会室において、議会報告会・議員を囲む会を開催しました。忙しい週末にも関わらず約80名の皆様方に参加して頂きました。

朝田議員の議会報告は、主に災害に強い自治体施策についての報告でした。東日本大震災で、八潮市では文化スポーツセンターが避難所になりましたが、被災された方の要望があっても行政サイドの対応に時間がかかったという事です。もし私たちが避難することを考えると不安になりますね。

来賓として、越谷市議会議員の伊藤議員(議長)と金井議員、同会派の福野議員にご出席頂きました。越谷市と八潮市の違いはありますが、近隣市として協力して良くしていこう気持ちが伝わってきました。また、上田埼玉県知事と県会議員の方々からご祝電を頂きました。御礼を申し上げます。ご参加された方はいつも熱心に聞き入って下さいました。ありがとうございました。(浅古)



○どうなっている?八潮市(児童・生徒)の学力!

先日、ある保護者の方との会話で「学力」の話題が出ました。その方曰く「八潮の学力って県の平均より低いんでしょ・・・」と(悲)

それは、過去の話です。私は、確実に学力は向上していると感じます。では、それを証明するデータをご紹介します。(以下の数値(正答率%)は埼玉県が実施している「教育に関する3つの達成目標」のデータを引用)

小学校

	H19	H20	H21	H22	H23
国語(八潮市)	87.4	90.7	92.5	94.6	96.8
(埼玉県)	88.4	91.1	92.7	93.8	96.9※
算数(八潮市)	87.4	91.9	93.2	95.5	96.9
(埼玉県)	90.6	92.5	93.6	94.6	96.6※

中学校

	H19	H20	H21	H22	H23
国語(八潮市)	78.3	86.1	85.4	92.2	94.5
(埼玉県)	82.8	90.0	87.5	94.6	95.0※
数学(八潮市)	78.5	82.0	86.3	89.1	93.0
(埼玉県)	79.1	83.5	85.0	87.6	89.1※

※数値は、東部教育事務所管内の平均点です。

上記のように、確実に学力アップしています。今後も、学校、教育委員会と様々な努力をし、更に学力が向上するように取り組んでまいります。各ご家庭での、勉強が重要だと考えます。保護者の皆様のご協力をお願いします。

ちょっと！待った！！ 駐車場スロープ工事を実施する前に…

平成24年度一般会計予算の中で、大瀬運動公園駐車場スロープ工事費が計上されました。

総括質疑で内容を確認すると、大瀬運動公園の駐車場へ入るスロープ(入り口)をもう一箇所増設すること(予算額600万円)。説明では、現在ある入り口は狭く、駐車場の出入りに支障があるそうです。確かに今の入り口は使い勝手は良いとは言えませんが、私は増設より先に整備をする箇所があるのでは?と感じました。例えば、サッカー場・野球場のグラウンドは凹凸が多く、利用者側から修繕の要望が多いのが実情です。(所管の委員会でも、服部議員も指摘していました)私のH24年度一般会計に対する賛成討論でも触れましたが、あえて今、スロープ工事に600万円を使うのではなく、公園全体の整備計画を作り、グラウンドの整備のために使うことの方が先ではないかと感じました。運動公園を利用者の皆さん、どう感じますか…?

※私はH24年度一般会計について賛成の立場をとりましたが上記の点は納得出来ません。



現在の入り口



新設される入り口付近

和宏の独り言… ～新たなスタートと目標～

皆さん、こんにちは!

4月に入り、新年度がスタートしました。皆さんの中にも、進学や就職、会社の異動等、で新しい生活環境となった方も多いと思います。新たな環境の中でのスタートは、人としてさらに大きく成長するチャンスでもあります。皆さんの更なる飛躍とご活躍を期待申し上げます。

さて、皆さんも知っている「ユニクロ」 創業者の「柳井 正」氏は、故郷、山口県宇部市で小さな衣料品店を経営していた時に、下記の言葉を自分の手帳に書き、「何度も何度も読み返した」と記されています。そして、どんなことでも明確な「目標」を持つことが大切だと述べています。

Be daring (勇気を持って) Be first (誰よりも先に) Be different (人と違ったことをする)
(マクドナルドの創業者「レイ・クロック」氏の言葉です)

私自身も、この3月、無事に大学を卒業することが出来ました。4年間、仕事と学業の両立は、思っていた以上に大変な面もありましたが、「何としても4年間で卒業する」という目標を達成するために、頑張ることが出来ました。また、多くの皆さんから、「頑張って!」という励ましの言葉が何よりの励みとなったのも事実です。(有難うございました)

私も、4月から「気分一新」新たなスタートです!

4年間で培った「知識・経験」を活かして、新たな「目標」に向かって、これから新たな気持ちで積極的に行動していきたいと思えます。

どうぞ、皆さんも失敗を恐れずに、何か具体的な目標を掲げ、積極的に行動をしていきましょう!



○議会報告会のお知らせ○

私たち会派(刷新の会)では、会派としての「議会報告会」を開催いたします。

当日は、朝田と福野議員がそれぞれの一般質問に関する説明と、平成24年度予算の概要について説明します。その後、参加者の皆さんと、意見交換会を行います。多くの皆様のご参加をお願いします。

◎日時 4月 21日(土曜日) 午後6時30分～8時30分頃まで。

◎場所 八潮メセナ 3階 会議室